国際ロータリー第 2550 地区
黒 磯 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 報

国際ロータリー会長:ホルガー・クナーク
第 2550 地区ガバナー: 森本敬三
事務所:〒325-0826 宇都宮市西原町 142
宇都宮グランドホテル内
TEL:028-651-2550
FAX:028-651-2551
E-mail: m2550@agate.plala.or.jp

ロータリーは機会の扉を開く

会 長:大島三千三 幹 事:秋葉秀樹
事務局:株式会社 帝都
代表取締役 秋葉秀樹
〒325-0051 那須塩原市豊町13-9
TEL:0287-62-3131・FAX:0287-62-5455
E-mail:hideki_akiba@akibacorp.com
例 会:国民の祝日を含まない週の水曜日
12:30 - 13:30
割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2902回 大島年度 第13回 会報 2020 10-21 司会 泉 道夫 君

お客さま
東京弁護士会 小島好己 様

会長挨拶 大島三千三会長

皆様こんにちは、ここ数日尚さらに、寒暖差が厳しくなりました。皆さん体調はいかがでしょうか？健康管理にお気を付けください。

さて、10月18日付けの下野新聞で、新型コロナウイルス感染拡大に伴い「雇用情勢が悪化している。県内企業コロナで一変！」との記事が掲載されていました。直近の公表済み2ヶ月（7月・8月）の栃木県の有効求人倍率が1倍を下回りました。帝国データバンク宇都宮支店が17日までにまとめた7月時点の調査によると、正社員が「不足している」と回答した企業は29.6%で、前年同月の48.1%から急減、一方で「過剰」とした企業は28.1%で、前年同月の8.4%から20ポイント近く増加、同支店の担当者「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う雇用情勢悪化が浮き彫りになった」と説明している。雇用情勢の悪化を翻すと我々事業所の仕事が縮小しているということになります。今後の景気の後退が心配されるところでございます。異業種の集まり、ロータリーだからこそ違う業界の現在の状況を情報交換して自分の仕事に生かし、職業奉仕につなげたいものです。

さて、話は変わりますが、先週の例会の後に秋間ガバナー補佐と五大奉仕委員長との懇談会を開催いたしました。11月4日のガバナー公式訪問例会の準備の懇談会です。今年度、ガバナー方針であります「魅力ある元気なクラブにしましょう」というテーマで意見が出されました。「交換留学生がいると元気が出るよね。」と、一致した意見でした。しかし、今年度受入れ予定でしたが、コロナでストップしてしまいました。また、心配なのは部員が2名になってしまった黒磯高校インターアクトクラブの事です。2004年に月江会員をはじめ先輩方の努力により設立されました。現在まで16年の歴史があります。今、2年生の部員2名で活動しております。コロナ禍の中、活動も制限されている現状でどのような支援ができるか、皆様のお知恵を是非お貸しください。例会も魅力ある例会を目指し、小委員会（家庭集会）も活発に開催していきましょう。

出席報告 出席委員会 髙木慶一君（出席規定の免除会員数7名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日（10月21日）	37（7）	27（7）	10（3）	79.0%		
前回（10月14日）	37（7）	32（5）	5（2）	91.0%	1	97.0%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 （以上石山桂子）
メール ggvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

幹事報告　秋葉秀樹幹事

● 第13回幹事報告

【地区大会YouTube配信について】

来る10月25日（日曜日）、2020-21年度国際ロータリー第2550地区の地区大会開催にあたり、新型コロナウィルス感染症対策のため会長、幹事の出席のみでの開催となります。

会員の皆様には大会当日の様子をYouTubeで生中継をいたしますのでご覧ください。

当日出席できない会員のクラブ内での出席扱いにつきましては、YouTubeで生中継をご覧いただくことにより本大会出席になります。

委員会報告　植竹一裕副会長

委員会報告はございませんでした。

ニコニコボックス委員会
前田貴宏委員長

大島三千三会員
小島先生、本日はお忙しいところ誠にありがとうございます。

秋間忍会員
黙秘するわけにいかず、皆さまにはご心配をおかけします。

相馬征志会員
誕生祝いありがとうございます。

植竹一裕会員
今週で仕事が落ち着きます。次回より早退いたしません

卓話
米山記念奨学会　平山博委員長

改めまして、皆様こんにちは、

本年度、米山記念奨学会委員長を務めます、平山でございます。

毎年10月は米山月間です。

クラブ米山記念奨学会委員長の役割は、と言う事でこの時期、奨学事業の理解と促進・協力を得ると、謳われております。

もう既にご存知の通り、日本のロータリークラブは外国人留学生を支援しております。この事業は1952年、東京ロータリークラブが発表した「米山基金」に始まり、日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の功績を記念し、国際奨学事業として、国内の全ロータリーの地域事業に発展したものです。

黒磯ロータリークラブ細則にも、

1. 米山記念奨学事業の理解を広め財政的支援を奨励する
2. 米山奨学生を支援しロータリー運動の良き理解者と、なる人材育成を支援する。

と記載されており、毎年会長の年度計画にも、「米山奨学生に対して黒磯ロータリークラブ一人当たり19,000円を支援する」とあります。

これらの先例や規範に照らし合わせ、クラブ米山奨学会委員会は、大島会長方針に基づき、会員一人当たり19,000円をクラブ寄付目標として、10月20日に皆様より15,000円のご寄付と、クラブ会計より4,000円のご負担を頂きました。ありがとうございました。

これで米山功労者・準米山功労者の増員を

図る事が出来ました。
　黒磯ロータリークラブでも、多く奨学生を受け入れております。私くしも昨年度、宇都宮大学の奨学生クオンホジン君のカンセラーを2年間引き受けました。
　ロータリー米山記念奨学会の制度をより深く理解する事が出来ました。
　本年度は米山奨学生の受け入れはコロナ影響で、今の所有りませんが、これからも、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支援し、将来日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって頂き、国際社会で活躍し、ロータリーが目指す「平和と国際理解の推進」に貢献して頂けると、確信しております。
　本来ならば米山記念奨学事業について、もっとご報告する事、お話しする事あるかと思いますが、皆様方は米山に対して良き理解者で有りますので、ロータリー米山記念奨学事業「豆辞典」を用意し配布致しました、是非お読み頂きますよう、お願い致しまして委員会の卓話とさせて頂きます。
　そのようなことで、私の卓話よりももっと楽しい話を、という事で鉄道に関連するプロフィールをまとめて、小島先生に、お話しいただきたいと思います。

東京弁護士会　小島好己さま

小島先生の経歴
氏名：小島　好己（こじま　よしき）
生年月日：1971（昭和46）年2月19日
略歴：1996（平成6）年早稲田大学法学部卒業
　　：2000（平成12）年10月東京弁護士会登録

　本日は平山博様から楽しいお話をというお言葉をいただいたので、鉄道の話をします。
　新型コロナの影響でJR東日本は数千億円の赤字となり、他の鉄道会社も四苦八苦しています。鉄道会社だけでなく日本全国不況の嵐かと思います。
　そんななか、最近、福島県と新潟県を走るJR只見線の車内でプロレスラーがプロレスを展開するというイベントを行ったというニュースを観ました。「なすてつ」の名前でイベント列車を走らせた身としてはその苦労と楽しさを共感する思いでした。
　列車を走らせた、というと、よく聞かれる二つの質問が、①貸切ってできるんですか？という質問と②いくらかかったんですかという質問です。
　①は誰でもできる（ただし一般募集する場合には旅行業法の関係をクリアする必要あり）、②は思うほどかからない、正確にいえば、利益追求しなければ回収はできる、という回答になります。
　只見線のプロレス貸切列車でいえば、列車の運転区間の越後須原駅と只見駅の普通運賃は片道大人680円なので往復で大人1人1,360円。キハE120という車両の乗車定員は2両で200名前後とすると272,000円。責任人員という前提はあるものの列車の貸切はこの金額くらいだろうなと思います。
　プロレス列車のパンフレットを見てみると、大人の旅行代金は10,000円で募集人員40名なので400,000円。最少催行人員は20名とされていて、20名だと持ち出しになりますが、40名くれば運賃的には元が取れます。その他の経費を考えて、持ち出しがあるとしても乗車した皆さんが楽しめるのなら安いものだと思います。
　私は数えてみると「なすてつ」の名前で5本列車を走らせました。お座敷列車「ふるさと」号でビール列車を２回、カーペット列車「NO. DO. KA」号でビール列車を1回、トロッコ列車「風っこ号」で日本酒列車を1回、ハイグレード車両「なごみ」号で那須塩原市10周年記念号1回です。「なごみ」号は一人当たりの運賃のほか特急料金とグリーン料金が必要だったので割高になりましたが、そのほかの車両は鉄道会社に支払うのは定員の9割の運賃だけです。これに協力してくれたビール会社のお金等が加算されましたが、持ち出しは多少あったもののほぼトントンでやることができました。
　「なすてつ」という団体でやりましたが、そうはいっても個人の活動のようなものだったので対応が大変です。一般公募だと旅行会社を使わないとならないので、「びゅうプラザ」の全面的な協力をもらったり、日本旅行に協力をもらったりしました。ただ、企画自体はほぼ個人なので、本業を抱えながらだととても負担がかかります。企画の時には弁護士なのかイベントプロデューサーなのか分からない日々がありました。
　そこで皆さんにお願いをしたいのは、ぜひ鉄道を生かしてほしいということです。プロレス列車運転の旅行主催は魚沼市観光協会でした。そこに実行委員会などが企画に加わったようです。私がやったときには福島県内の「びゅうプラザ」や都内の「日本旅行」が旅行主催だったので、地元のことは当然のこと

ながらあまりご存じなく、しかし私も那須塩原に事務所があるわけでもなく、ということで、よそ者が那須塩原のために動くという状態でした。

でもそれでも大変ながらやれました。そこに地元で活動している方々が積極的に加わっていただければもっと楽しみながらやれると思います。列車のアドバンテージは、楽しみながら移動をすることができる、ということです。往復でもよく、片道でもよく、目的地に移動しながら楽しむことができるということです。

狭い空間のコロナ禍の中で汗がほとばしるプロレスなどということができたのですから、ここでもやれることはあるんじゃないかなあと思っています。

鉄道好きが高じて列車を走らせた話をしました。これがきっかけでよそ者だった私も地元に溶け込むことができたように思います。鉄道様様です。

また、鉄道が仕事に結びつくということがありました。

鉄道趣味きっかけで「鉄道ジャーナル」に法律と鉄道を絡めたコラムを2年執筆し、終了したあと、ある会合でお会いした東洋経済の方から「鉄道ジャーナル」を読んでいたと声をかけていただき、「東洋経済オンライン」の「鉄道最前線」で書くことになりました。その媒体を見て、時折鉄道関係でメディアから取材があったり、もうだいぶ前になりますがＮＨＫの「あさイチ」に出演してお話をする機会というのもありました。最近ではある証券会社から「鉄道運賃制度」について話をしてほしい、というお話もいただきました。

鉄道と広島カープが融合して今宇都宮に線路を敷設している宇都宮ライトレールの顧問弁護士にも就任することになりました。

改めて、鉄道好きでよかった、としみじみ思っています。

＝那須塩原を走ったイベント列車たち＝

「ふるさと」号ビール列車（黒磯⇔郡山）

「なごみ」号（上野→那須塩原）

「ビューコースター風っこ」号日本酒列車（黒磯⇔白河）

「NO. DO. KA」ビール列車（那須塩原⇔郡山）

10月21日欠席（敬称略）
荒井昌一・檜山達郎・井出法・時庭稔
佐藤博・石山桂子・永山三芳・和気勝利
戸野俊介・瀧田雅仁・吉光寺政雄

前回10月14日分メークアップ（敬称略）
吉光寺政雄

次回例会　　令和2年11月4日　　クラブ協議会

近隣クラブ例会日
〇火曜日　西那須野/いとう屋　0287-36-0028
〇木曜日　大田原中央/勝田屋記念会館　0287-23-4165

近隣クラブ例会日
〇木曜日　大田原/ホテル花月　0287-54-1105
〇金曜日　黒羽/ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：藤崎善隆・稲垣政一・高木茂・田中徹・相馬征志